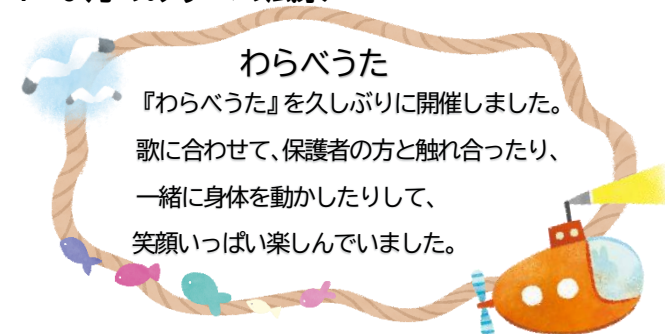


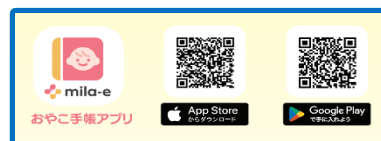
7・8月のみずべの風景



<お知らせ>

令和8年度4月1日より、プログラムの申し込み方法が変わります。
 こうとうおやこ手帳アプリ (mila-e) をダウンロードして、豊洲子ども家庭支援センターのイベント
 をご覧ください。合わせて、今までのポータルサイトでは、イベントのお知らせを紹介しております。

ダウンロードはこちら
 かんたん＆無料で登録



【ランチタイム】

- ① ランチスペースはワークショップのみとなります。
- ② ランチタイムは12:00~13:30となります。
- ③ 交代で多くの方にご利用いただけるよう、
- ④ ご利用は1組あたり30分以内とさせていただきます。ご協力をお願いします。



【ひととき保育の登録について】

ひととき保育の利用登録は

月曜日 10時~16時 (12時~13時・祝日は除く)

水曜日 10時~12時 (午前中のみ)

※登録に電話予約が必要です。

<予約日> 月曜日分・前の週の金曜日 9:00~

水曜日分・前日の火曜日 9:00~

持ち物: 母子手帳・保護者の身分証明書

予約が埋まり次第、予約終了とさせていただきます。



【センターからのお願い】

- ・ベビーカーでお越しの際には廊下にて畳んでください。
 - ・自転車には自転車札を受付にてお渡ししますのでつけてください。
 - ・大人の方は靴下の着用のご協力をお願いします。
 - ・靴の取り間違え防止のため、靴は親子で重ねて番号札をご利用下さい。
- ご不明な点はお気軽にお声掛けください。

江東区豊洲子ども家庭支援センター みずべ (江東区 指定管理者 社会福祉法人景行会)
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 5-5-1-201 TEL 03-3536-7681 FAX 03-3536-7683
 (相談専用 03-3536-7682)
 E-mail toyosukosodate@ka.baynet.ne.jp URL <http://koto-kosodate-portal.jp/mizube/>



219号

子ども家庭支援センターだより
 江東区豊洲子ども家庭支援センター

(指定管理者) 社会福祉法人景行会
 理事長 坂倉泰正



かもめつうしん



2026・9月号

「夏の思い出、秋のはじまり」

夏の余韻を感じつつも、月日は9月に入り、秋へと移りゆく季節となりました。

「夏のみずべ」では今年もボランティアセンターを通じて、夏のボランティア活動としてお手伝い体験をしてくれた中学生・小学生がいました。活動の終わりに感想を聞くと、「小さい子と一緒に遊んで楽しかった」「抱っこをしてみた、可愛かった」など嬉しそうに話してくれました。日頃赤ちゃんと触れ合う機会がほとんどないと話してくれましたが、夏休み期間に乳幼児と交流して、社会貢献だけでなく命の尊さや小さい子への優しさを学ぶ経験になったのではないかな?と感じました。笑顔溢れる異年齢の交流の機会となりました。またいつでもボランティアのご参加をお待ちしております!

話は変わりますが、2026年の「十五夜」は9月25日です。この時期のお月さまが最も美しいと言われています。江戸時代の頃から月に農作物の収穫を感謝し、豊作を願ったりする意味も加えられたとされています。月にお供える物として、月見団子、ススキ、芋(里芋・さつま芋)など秋の収穫物があります。お散歩でススキを見かけたり、スーパーでお芋を買って食べたりと、身近なところから秋を感じて十五夜を楽しむのもよいですね。

倉橋淳子

< お芋ご飯 >

材料

お米・・・2合
 料理酒・・・小さじ1
 塩・・・小さじ1/2
 さつま芋・・・小さめ1本(200g)
 ごま塩

【作り方】

- ① お米洗い、適量の水を入れて30分浸水させる。
- ② さつま芋はよく洗って、皮が付いたまま1.5cm角に切って、水に5分さらす。
- ③ ①に酒、塩、水を切ったお芋を入れて炊く。
- ④ 炊き上がりはしゃもじで混ぜて、茶碗に盛り付けお好みでゴマ塩をかける。

